



動物レスキュー通信

2016年 9月 第40号 (平成28年9月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく) : 詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

よくあるネコちゃんの問題行動

どんな意味があるの？



イラスト ASH

詩月財団でも推奨しているように、最近では外出自由なネコちゃんも少なくなくなり、完全室内飼いのネコちゃんが増えています。そのため飼い主さんと一緒に過ごす時間も多くなり、ネコちゃんの問題行動に悩まされている飼い主さんも多いことだと思います。しかしその行動は人間がネコちゃんにされては迷惑だと感じるから問題行動だといつのであって、ネコちゃんの習性を理解した上で考えれば、ネコちゃんにとつては当たり前な行動であつて、問題行動とは言えないことだということです。この辺を踏まえた上でネコちゃんの行動を観察し飼い主さんが気をつけることで「ソトロー」できれば、飼い主さんとネコちゃんの関係が今まで以上に良いものとなるはずですよ。今回は私の愛猫の行動や、ネコちゃんの飼い主さんから聞いたお話などを参考に書かせていただきます。

行動の具体例

①「頭をかじり、髪の毛を食べる」飼い主さんの肩に飛び乗ったり、寝転んでいる時にやつてきて、頭を噛み始めます。そして髪の毛をガジガジと咬んで食べようとします。この行動、実は親しみを込めた愛情表現のひとつなのです。ネコちゃんを多頭飼いされているご家庭の方はよくわかると思いますが、ネコちゃん同士がグルーミング(毛をなめる)をし合う姿を見たことがあるはずですよ。ネコちゃんは生まれ

ての頃、母猫が子猫のグルーミングをします。その後約一週間で子猫同士がお互いにグルーミングをします。この行動は大人になつても変わることはありません。その中で集団の絆を深めていくのです。このことからわかるように、頭や髪の毛だけではなく、飼い主さんをなめる行動は、飼い主さんを親しい仲間と認めている証拠なのです。ですがネコちゃんの舌はさらさらしていて舐められることも痛いですし咬まれるのももちろん痛いので、髪にネコちゃんが好きではない柑橘系の香りを付けるなどすれば自然と咬まなくなつてくるはずですよ。②「指や耳たぶに咬みつく」母猫に育てられた子猫の場合、生後2カ月位になると母猫の母乳は出なくなつてきます。その頃になると母猫は子猫に乳首を吸われると痛いので、離乳を促すために威嚇し、前足で子猫の鼻先を叩き、母乳が出ないことを教えます。しかし人の手で育てられたネコちゃんは、このように厳しく離乳させられたわけではないので、母猫に育てられたネコちゃんよりも人の指に咬みつく行動が残ります。人の指や耳たぶだけではなく、ネコちゃんの中には吸いつく対象が毛布やタオルなどに移つて行つてしまつてもいます。ぬいぐるみやタオル、布団カバーなどを穴だらけにするような行動も同じです。この場合は繊維を飲み込まないように気をつけてあげなくてはなりません。そしてネコじやらしやネズミのおもちやで遊ぶなど、狩りを思いおこせるような遊びを取り入れてあげて下さ

い。狩りにはストレス発散と幼児性からの脱却を促す効果があるからです。ですが指などに咬みつく行動も、撫でてあげたりグルーミングをしている時に現れるだけなら何の問題もありません。ネコちゃんがとてもしラックスしている証拠です。③「ある時間になると家中を走り回ろうとする」是多頭飼いなので、ネコたちが若い頃は毎晩大運動会が繰り広げられていました。その間、5分ほど。全速力でのダッシュを繰り返したり、壁をかけたのぼったり、何かに飛びかかったりもします。早朝や夕方この行動をとる場合はハンニングだと思えられます。野生で生活していれば、このような時間帯に狩りを行いますので、早朝や夕方にネコちゃんが活動的になるのはとても自然な行動で、家猫として長い間過ごしてきていても、野生時代の習性は簡単に消えてなくなることはないのだという事です。早朝や夕方意外に行われるようでしたら、たまつてしまつたエネルギーの発散が目的だと考えられます。完全室内飼いのネコちゃんにとつては、狩りをしなくても毎日自動的に「敵が出てきて、敵が襲つてくるわけでもない」のでエネルギーをもたえてしまっています。その為、ネコちゃんが持っている能力の発揮を抑制されている状態です。その抑制があるレベルにまで達すると、ちよつとした刺激が引き金となつて抑えきれなくなり、エネルギーの発散行動となつて現れます。その引き金はネコちゃんそれぞれに違いますが、多頭飼いの場合は誰か一匹が暴れたすつとつられて他のネコちゃんも暴れたすつという事もあります。この場合、一日にわつから分ほどの事なので、目いっぱい暴れさせてあげて下さい。その際に危険なものも片づけるなどしてネコちゃんが怪我をしないように。飼い主さんが気をつけてあげて下さい。ネコちゃんの習性を少しでも知ることで、飼い主さんとネコちゃんの間隔がよりよくなります。(詩月)